

たま

市議会だより

tama city council

No.247



多摩市議会
ホームページはこちら

発行 多摩市議会 〒206-8666 東京都多摩市関戸六丁目12番地1 TEL: 042(338)6890・6891 FAX: 042(372)6761

特集

◆ 2025子ども議会探検

◆ 令和6年度(2024年度)決算

- ① 令和6年度決算を認定
- ② 分科会による事業の評価
- ③ 決算認定での会派の意見

「黄金の並木路」

撮影者：春山祥夫さん(市内在住)
撮影場所：多摩市いろは坂

令和7年 第4回多摩市議会定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	12/1	2	3	4	5	6
			本会議 (行政報告、一般質問)			
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (議案等審議)	総務	常任委員会 健康福祉	生活環境		
14	15	16	17	18	19	20
	子ども教育	多摩市役所 新庁舎建設等 特別委員会	代表者会議	議会運営 委員会	休会日	
21	22	23	24	25	26	27
	本会議 (議案等審議)					
28	29	30	31			

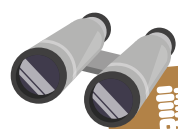
※日程は変更になる場合があります。

2月5日号に掲載する
表紙写真 募集中!

詳しくは7ページをご参照ください。



特集	2025子ども議会探検	2
特集	令和6年度決算を認定	4
特集	分科会による事業の評価	5
特集	決算認定での会派の意見	6
	議案の深議	8
	一般質問	9
	新庁舎建設等特別委員会中間報告	14
	議長活動報告	14
	審議結果	15
	市民と議会	16



議会をもっと身近に

2025 子ども議会探検



6年ぶりに「子ども議会探検」を7月30日に実施しました。市内の小学校4～6年生26名に参加いただき、子どもの頃から市議会に関心を持ってもらうことを目的としました。



第1部 多摩市と多摩市議会について

「多摩市ってどんなところ?」「多摩市議会は何をすること?」をテーマに、スライドを用いて学習しました。

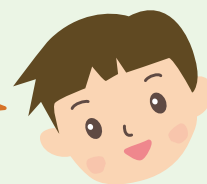
みなさん議員の説明を真剣に聞いてくれました。



議長のイスに座ったよ!



市議会議員ってどうやって選ばれるのかな?



4年に一度の選挙で選ぶんだ。
小学生のみんなも18歳になったら、選挙に行くことができるよ。





第2部 議会探検(クイズラリー)

議場のほか、議長室、委員会室、議会図書室などを「探検」。子どもたちは議員からヒントをもらいながら、クイズラリーに挑戦しました。



議員さんが質問に答えてくれたり、クイズを解いて楽しかった！

クイズの例 答えは下に

多摩市内に「公園・緑地」はどのくらいあるでしょうか？

- ①100くらい ②200くらい ③300くらい



第3部 子ども議会

はじめに、議案審議の流れ(提案理由の説明→質疑→討論→採決)を、議員が演じた動画で学習。その後は「子ども議員による質問」が行われ、議員が市側の答弁役となり、多彩な質問に応じました。



子どもの頃の将来の夢はなんですか？というものから石破総理についてどう思いますか？など色々な質問が出ました。

子ども・若者プロジェクトチーム



「子どもの時期から市議会について興味、関心を持ってもらうことで主権者教育に資する」ことをめざしプロジェクトチームで企画・実施しました。



参加した保護者の方からは、「市議会を身近に感じられた」「子どもも保護者も市議会について学ぶ良い機会になった」などの感想が寄せられました。

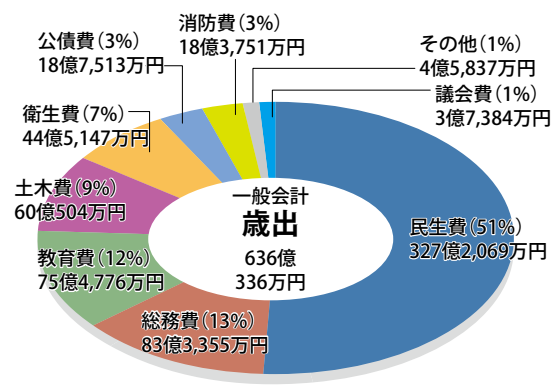
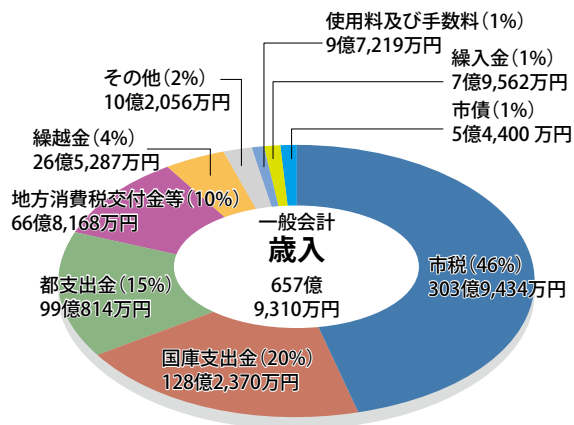
今後も、子どもたちに市議会に親しみを持ってもらえるような取組みを進めてまいります。

令和6年度 決算を認定

令和6年度に多摩市がお金を使った結果(決算)について、議長を除く全議員で構成する予算決算特別委員会において審査し、本会議で認定しました。

令和6年度一般会計決算 款別構成グラフ

「教育」「消防」など使う目的ごとの分け方を款別といいます。



※()内の比率は端数調整しています

令和6年度 各会計別決算額

区分	歳入	歳出	差引額
一般会計	657億9,310万円	636億336万円	21億8,974万円
特別会計			
国民健康保険	147億4,300万円	145億6,602万円	1億7,698万円
介護保険	128億9,948万円	128億1,022万円	8,926万円
後期高齢者医療	51億6,618万円	51億267万円	6,351万円
合 計	986億176万円	960億8,227万円	25億1,949万円

区分	決算額
下水道事業会計	収益的収支
	収入 33億8,264万円
	支出 27億7,178万円
	資本的収支
	収入 9,528万円
	支出 5億2,060万円

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

決算審査 こんなことが話題になりました

①「都心から近い」「自然が多い」まちの魅力

総務費 シティセールス推進事業

インフルエンサーを活用したSNSでの情報発信についての質疑があり、ジャンルを分けて3名のインフルエンサーが動画をInstagramで発信したというやりとりがありました。その他、子育て世帯の転入を促すPRとして『とかいなかで、子育て』というキャッチコピーで都心などの6駅でポスターを掲示したが反響はどうかとの質疑があり、期間中延べ713万人が目にし、新聞紙面でも取り上げられたとの答弁がありました。

③高齢社会に安心のお葬式・納骨をサポート

衛生費 斎場・霊園管理経費

南多摩斎場火葬炉の増設など施設の運営の在り方を検討すべきとの意見に対し、南多摩斎場では、令和5年度から火葬を1日30件に増やし、今年度から1月2月は友引も火葬しているという報告がありました。

また、お墓のご相談をおくやみコーナーで対応、お墓のニーズ調査をし、南多摩都市霊園に合葬墓や樹木葬ができないかという質疑に対し、市民ニーズを把握した上で検討するとのことでした。

⑤福祉部門とも連携しながら住宅支援の推進

土木費 住宅ストック対策事業

住まいに課題がある方が、住宅と福祉の両面から支援を受けられることは重要です。質疑により居住支援協議会の委員に社会福祉協議会と今年度から住宅確保要配慮者を支援している法人の加入がわかりました。また空き家調査の質疑では、市内全戸における空き家と空室が4.2%であったこと、今後所有者の世代交代時に空き家や管理不全が発生する可能性があり、空き家対策計画の中で対策を盛り込みたいとの答弁がありました。

②聖蹟桜ヶ丘エリアの待機児童対策を早急に

民生費 子どものための保育給付費

聖蹟桜ヶ丘周辺の待機児童の質疑がありました。待機児童は多摩市全体的には新カウントで2名ですが、地域的・年齢的なミスマッチがあり、特に1歳児の問題があります。数年間で聖蹟桜ヶ丘駅周辺に認可保育所が2か所と認証保育所が1か所新設され、緊急1歳児受け入れ事業等に対応してきました。さらに定員の見直し、送迎サービス、定期利用保育の延長等検討をするとの答弁がありました。

④生物多様性の保全を進める取組みについて

衛生費 環境保全啓発事業

120名を超える市民が「iNaturalist(アイナチュラリスト)」というアプリを用い投稿することで、市内で2,000種以上の生き物を確認することができました。そのデータの活用について質疑があり、新たな参加者を獲得しながら継続し、将来的には蓄積したデータを多摩市生き物データバンクとして整えること。また、市内の水、緑、生物多様性の保全を進める上での基礎データとしての活用も考えていると答弁がありました。

⑥学校給食センター建替えと給食の質の評価

教育費 学校給食センター運営費

物価高騰中でも給食は無償化だが品質等は大丈夫か、そして子どもたちに給食の満足等をどう確認しているか質疑があり、献立の工夫を進め栄養バランスを考慮し、納入業者と情報共有し提供している。栄養士が年2回学校訪問し、意見やリクエストを聞いているという答弁がありました。また、市長公約の災害時対応給食センター建替えとコンサル料2千万円の内容と進捗と成果については、コンサルの助言を受けて現在地の永山に建替ええるとのことでした。

来年度予算編成に向けて「議会の評価」を市長に送りました！

市議会では、決算審査における事務事業の評価を翌年度の予算に反映する「決算と予算の連動」に取り組んでいます。今年度は、昨年同様に常任委員会を基礎とする4分科会が評価対象事業を選定し、「決算事業報告書」に記載された事項に基づき、複数回のヒアリングと議論を重ね評価を行いました。令和7年第3回定例会の最終日に、議会として一致した意思を示すものとして確定し、市長に送付しました。

今回の「議会の評価」に対して市がどのように予算編成を検討したかについては、来年の3月議会で報告を受け、各座長から質疑を行う予定です。



令和6年度決算の審査

総務分科会

評価対象事業	事業評価
ふるさとTAMA応援寄附金管理運営経費	継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

- ・「市外在住の個人からの寄附件数」を増やすため、今後も市民や市内事業者と一緒に企画を考え「魅力的な返礼品」メニュー（人気アニメ活用の聖地巡礼、写真撮影会・お誕生日会などの企画、体験型など）を増やすべき。その際、単なる返礼品競争に陥らず、市外からの母校・図書館・自治会・市民団体等への寄附なども検討すべき。
- ・サイト上の返礼品の見せ方にも工夫を。
- ・決算カルテには「市の魅力発信、来街促進と産業振興」の目的達成のための具体的な目標と成果を記載すべき。

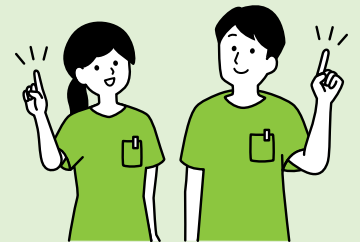


健康福祉分科会

評価対象事業	事業評価
一般介護予防事業（一般会計）	改善継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

- ・近所de元気アップトレーニング等の会場の確保の支援や、指導者の交通費など、金銭的な負担軽減を検討していただきたい。
- ・65歳を過ぎてても就労する方も増える中で、介護予防リーダー養成講座や近所de元気アップトレーニングの土日開催を検討するなど、大学生や現役世代等を講師に迎える取組みを進めていただきたい。
- ・さらに広く参加者が増加するように、特に課題である男性の参加者率の低さを改善する取組みを求める。
- ・介護予防事業の成果を数値化して可視化する取組みの検討を求める。



生活環境分科会

評価対象事業	事業評価
公園管理経費	継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

- ・公園機能の再編について費用対効果を考え、事業者との連携を密に推進してもらいたい。
- ・公園管理においても、道路管理で市民が道路の損傷等の投稿に使用する「マイシティレポート」アプリの活用を検討してもらいたい。
- ・落枝や倒木被害に対する事前対策として、令和6年同様の点検ができるくらいの予算を確保するべき。
- ・住民との意見交換を行い、必要な場所には安全・安心で清潔なトイレを整備してほしい。
- ・樹木の状態や診断状況の見える化を検討してほしい。



子ども教育分科会

評価対象事業	事業評価
多摩市立複合文化施設等管理運営事業	改善継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

- ・公演内容は、市民に身近な演目も選定し、実施主体の多様性を。
- ・映画事業は市民文化団体との協力で実施に向けた検討を。
- ・稼働率が著しく低い貸室がある。抜本的な改善を。
- ・多摩中央公園、中央図書館との連携、回遊性の充実を。
- ・文化施設としてトイレの充実が必要。温水洗浄便座の設置を。
- ・回廊展示のしつらえの工夫や周知の充実で有効活用を。
- ・「パルテノン多摩NEWS」は公演関係以外の情報も掲載を。
- ・博物館機能の位置付けを明確にし、取組みの推進を。



決算認定での 会派の意見

令和6年度の多摩市の各会計決算にあたり、定例会最終日の討論では、各会派がこれからの市政へ向けた一般会計歳入歳出決算への意見を述べました。

市民ニーズを捉え、早急な課題解決を！

認定



公明党
池田 けい子

明快な財政運営と平和の継承を

令和6年度は、環境政策や子育て・防災対策など、新たな事業や拡充したものも多く、評価します。しかし、物価高騰対策が強く求められた中、飲食・小売店等や市民に大変好評であったGOGO多摩キャンペーンができなかったことは残念でした。25億円を超える不用額や、大幅に増加した流用額についての指摘は真摯に受け止め改善をお願いします。

「日本原水爆被害者団体協議会」がノーベル平和賞を受賞されたことは、多くの方が感動し喜びとなりました。「子ども被爆地派遣事業」は、多摩市が誇る大切な事業です。引き続き、多くの市民がこの平和事業に触れることができるよう期待します。

誰もが安心して暮らせる多摩市へ

昨年度はパリ五輪や米大リーグでの日本人選手の活躍など、スポーツが明るい話題となりました。今年は100周年記念となるデフリンピックが東京で開催されます。障がい者スポーツの推進や、障がい者への情報保障の取組みに一層力を入れるべきと考えます。

あたごSpace開設、こども誰でも通園制度や放課後子ども教室の充実、たまこどもフェスなどの取組みは評価します。待機児童も減少しましたが、地域によって保育園ニーズの偏りが生じています。若い世代が不安なく子育てができるよう、早急な改善を要望します。また、高齢化・担い手不足による地域コミュニティの危機、さらに多死化社会において葬儀やお墓の問題などが喫緊の課題となっています。高齢者の方々が安心して暮らせる多摩市となるようさらなる取組みを求めます。

不登校…子どもを個人として尊重する学校を

認定



日本共産党
小林 憲一

消費税緊急減税を国に求めるべき

物価高騰に最も有効な対応として国に「消費税の緊急減税」を求めるべきです。市は「地方消費税交付金が減る」などとして減税に否定的だが、消費税減税財源として「大企業と超富裕層への適正な課税」を掲げる日本共産党などの議論にも目を向け「消費税ありき」の考えの見直しを求めます。新公共施設再配置計画「アセット・マネジメント」では、現行の「公共施設の見直し方針と行動プログラム」で4図書館・4児童館廃止計画などへの反対運動が起きた経過をきちんとふまえることをあらためて求めます。

カネ・人を増やししかねないDX推進

自治体DXは、財源では国負担とすべきものが、実際には自治体負担になり、人材確保も課題。事務の効率化の半面、DX推進はこのままでは「金食い虫」になる危険性があります。厚生荘病院廃止強行による地域医療空白を認めること、認知症を予防する補聴器購入助成の決断、介護事業者への支援の具体化を求めます。

「少人数授業」などが好評の「あたごSpace」のようにどの学校もそういう環境が必要です。ユネスコからも勧告されている「過度なストレス」を子どもたちに与える学校環境を改善し子どもを個人として尊重する不登校対応を求めます。

不確実性の社会で持続可能な運営を期待

認定



自民党
松田 だいすけ

世界的な大転換と日本の状況

令和6年度の世界と日本の状況を回顧してみますと大転換の年でありました。特に2024年は世界的にも選挙イヤーでありG20のうち11カ国で行われ、特に2024年7月にはイギリスで政権交代、10月に日本では衆議院議員選挙で与党が過半数割れし、11月にはアメリカの大統領選挙があり翌年1月から第2次トランプ政権が動き出しました。

日本国内の状況としては賃上げが物価上昇や税負担増と連動し、実質的な生活向上に繋がっていないとの意見が多く、税制の見直しを求める声が大きくなってきました。

国や都に予算措置を求めつつ新たな歳入確保を！

多摩市においては、ふるさと納税や、定期予防接種の種類の増加などによる国策の影響を受けた一般財源の持ち出しなどが年度を経るたびに増えていく状況であり、新たな歳入の確保や、国や東京都に予算措置を引き続き求めていかなければならない状況にあります。新たな歳入確保はこれまで推進してきたシティセールス等、他市と比べ恵まれた部分などをシティプロモーションのところで見つけ直し、さらなる推進を期待します。

そして全国的な課題でもある人材の確保について特段の努力を持って臨まれることをお願いし、認定の討論とさせていただきます。

各部署で気候危機対策と権利保障を

認定



ネット・社民の会
岸田 めぐみ

記録的猛暑への対策を

物価高騰がとまりません。市民生活を支えるため、11回の補正予算が組まれました。見える形で行うことは大切なやり方だと考えているので、これからも議会の審議を得るように努めてください。また異常気象と言える暑さの原因となるCO₂について、数値で示せる取組みでは計算上で約4,846t削減しました。今後は各所管が主体的に考え、できる適応策を実施することを求めます。

子ども参画でより良いまちへ

本市がうたう「こどもまんなか」とは、子どもの意見や発信内容を施策に反映することやフィードバックすること、またおとなと同じ市民として説明を受けることが求められます。それが条例に基づく子どもの権利です。全庁で積極的な子どもたちとの関わりを要望します。我が会派では予算は否決しましたが、所管が予算審議で指摘したことを受け止め取組んできたことを確認できたため、決算は認定といたします。

子育て世代が子育てしやすいまちへ

認定



あすた・女性の力
中島 律子

令和6年10月より所得制限撤廃による児童手当の拡充が行われ、支給期間が高校生まで延長となり、第3子の支給額は月3万円に増額としました。また、令和6年4月から市内の小中学校の児童生徒の学校給食を無償化とし、物価高騰により多くの市民が食費や光熱費を節約するな

どの工夫を余儀なくされる中、子育て世帯への生活に直結する支援を迅速に実施したことは高く評価します。

今後は、将来予定されている大型公共施設の更新や改修等が控えており、事業の統廃合や仕組みの見直し等、さらなる健全な財政運営を期待します。

災害に必要な給食センターと病院の今後

認定



青空りっけん
しらた 満

審議では、たま広報・議会だよりの全戸配布数相違や八ヶ岳少年自然の家、尾根幹線沿道・旧統一教会の課題等を確認しました。特に学校給食センター建替えと日本医科大学多摩永山病院の進め方は、ニュータウン再生と市民生活維持向上に不可欠な事業です。より迅速で積極的な推進を要望しました。

将来を見据えた行財政の構築を

認定



多摩みらいの会
しのづか 元

今後増加傾向にある義務的経費、多様化する市民ニーズに対応するためには、さらなる行財政改革と歳入増への取組みが欠かせません。未利用地などの利活用や、多摩ニュータウン再生の具体化による、まちの活性化と新たな産業と人口の流入を図るべきです。

熱中症には優先的な対策が急務

認定



多摩の風
折戸 小夜子

国は事業者に対して熱中症対策を罰則付きで義務化しました。学校給食配膳室の大多数がエアコン未設置で扇風機やアイスベストの使用だけの作業、現場は過酷な環境です。早急な対策を要望します。公共交通の拠点である多摩センター駅のバス停8番での西日対策は多くの声、改善を要望します。

入札不調と公共施設改修への影響は

認定



日本維新の会
藤條 たかゆき

将来的な建設コストの上昇や施工業者の確保困難という構造的課題を直視し、アセットマネジメント計画への影響を見据え発注体制の柔軟性を図っていく必要があります。「持続可能な公共施設整備」への不断の見直しと改革の継続を強く求めました。

あなたの写真、多摩市議会だよりに
載せてみませんか？

表紙写真 募集中！



多摩市公式ホームページにて、
「議会だより表紙写真」で検索



議会だより表紙写真

検索



スマホで撮った写真も大歓迎！
みなさんの応募お待ちしています。



「終わりゆく夏、始まりの秋」
撮影者：りゅうせい さん(市内在学)
撮影場所：永山南公園

令和8年中に小学校全校の体育館に空調設備を設置します

第64号議案 令和7年度多摩市一般会計補正予算(第4号)



議案の内容

国・都補助金等の活用など、この時期に予算対応が必要なものの、情勢変化等に適時適切に対応するもの、計画の着実な実施に係るものについて補正予算が計上されました。

このうち、歳出の教育費に係る質疑の中で、昨今の酷暑を受けての熱中症対策として、子どもたちの命を守るために来年1年間のうちに小学校全校の体育館に空調設備を設置するための予算が計上され、そのことについて活発な議論が行われました。

質疑で確認されたこと

問 学校の体育館への空調設置については、これまで議会からもあらゆる形で要望をさせていただいてきた。今回の補正予算はその要望に応える形で計上いただいたものと認識しているが、来年中に全校設置となるか確認したい。

また、設置予定の空調設備は一括発注のリースというところで、予算額で約9.2億円という大金が市外事業者流れていくと思うが、その件について市の見解を伺う。

答 来年中に全校に設置する予定である。市としてはどうか1年間のうちに小学校の空調設備を設置することを最低限の目標として、リースを選択した。リースになると確かに市内の設備業者が受託者となるのは非常に難しいかもしれないが、日頃、緊急対応や災害対応などを行っている地元の方々との関係は、配慮しなければならないとも考えている。

問 エアコンに加えて遮熱シートの設置も予定していると思うが、遮熱も含めた工事期間は、来年のいつ頃までに終了する見込みか。また、子どもたちが体育館を使用できない期間があるのか。

答 工事期間は現時点では10月までの終了を想定している。おおむね1校あたり1ヶ月程度工事が入る見込みのため、時期にもよるが体育の授業で体育館が使えなくなる可能性はある。

問 今回設置する空調は災害時の利用も想定しているのか。また、体育館でいろいろな競技をする際に、エアコンから風が出ると支障があるのではないか。

答 避難所として利用することも想定しており、今回採用する空調は停電対応型のエアコンとなる。また、床輻射式のエアコンも含めて検討した結果、風の問題はあるが、通常のエアコンの方が費用対効果も含めて良いのではないかとということで、中学校についているような風が出てくるタイプのエアコンを設置する予定である。

9月議会で話し合い、決まったこと。主な内容をお知らせします。

提出した意見書

意見書は、市の公益に関することについて、多摩市議会として国や東京都に意見を表明するものです。

※全文は、多摩市議会ウェブサイトでご覧ください。



令和7年第3回定例会
提出(予定)議案

件名	概要	提出先
通学路の安全対策に係る支援を求める意見書	市ではこれまでも教育委員会や警察等の関係機関と連携して、登下校時の安全対策に取り組んできたが、信号機や横断歩道の新設などにおいては柔軟かつ迅速な対応が困難な案件もある。このことから都に対して、児童・生徒の安全確保のため、学校や地域の要望をくみ取った積極的な対応を要望する。	東京都知事 東京都教育長
学校施設の老朽化等に伴う施設整備に係る財政支援について国庫補助である『学校施設環境改善交付金』の更なる充実を図るよう文部科学省への働きかけを求める意見書	本市では、令和元年度～3年度に都に申請した「学校施設環境改善交付金」の空調設置に係る交付金の一部が不採択となったが、令和4年度以降全ての事業が採択された。しかし、補助単価は実勢価格と乖離して経費負担は大きいと、都に対して令和8年度以降も全ての事業を採択するとともに、国の補助単価及び補助率の引上げ等、補助制度を拡充することについて、文部科学省への働きかけを要望する。	東京都知事 東京都教育長
学校給食費無償化実施のための東京都公立学校給食費負担軽減事業、市町村総合交付金(政策連携枠)の継続実施を東京都に求めるとともに国への働きかけを求める意見書	令和6年度から都が実施している「東京都公立学校給食費負担軽減事業」、学校給食費無償化のための「市町村総合交付金(政策連携枠)」の拡充について、令和8年度についても継続して実施することを求めるとともに、学校給食費の無償化については国の財源で進めていくことを都から国へ働きかけるよう要望する。	東京都知事 東京都教育長
中学校等における地域連携・地域移行に関する支援事業の補助率について拡充を求める意見書	国のガイドラインでは、令和8年度以降の地域連携や地域クラブ活動への移行について、令和10年度までを改革実行期間の前期に位置付けている。この期間中、各市町村がそれぞれの財政事情や人材事情等に応じて、持続可能な方法で地域の実態に合わせた連携や移行を進めていけるように、当事業の補助率の拡充を都に要望する。	東京都知事 東京都教育長
定期的予防接種の実施に係る経費について、国の責任において財源を確保するよう求める意見書	国の予防接種計画により、定期的予防接種の対象は拡大し、定期接種にかかる費用は交付税措置されているが、本市のような不交付団体では費用全額が一般財源での負担となり、定期接種化に伴う財政負担が重くなっている。予防接種施策は、感染症対策の基盤であることから、国の責任において、財源を確保するように要望する。	内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 国税庁長官

市政に関する

一般質問

要旨

第3回定例会では、18名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧いただけます。

YouTube 多摩市議会 で検索してください。

発言の全文を記載した会議録は12月上旬以降、市内の各図書館や多摩市議会のウェブサイトでご覧いただけます。



各議員の動画は
こちらから



多摩市議会会議録
検索システム



小林憲一 (日本共産党)

1. 統一協会の施設建設を断念させよう
2. 集合住宅に介護の駐車スペースを
3. 歩行不自由な方の選挙権保障を

問 統一協会所有地の系列宗教法人への譲渡など脱法的行為を許さないために速やかな情報把握と共有が必要だと考えるが、いかがか。

答 譲渡が行われる場合、「被害者救済特例法」に基づく報告義務と文化庁による公告制度がある。情報を得たら、速やかに議会や市民と共有を図る。

問 介護保険は公的な制度だ。特に集合住宅における訪問介護などで使用される車両の「駐車スペースの確保」を求めたい。市営住宅の場合は、いかがか。

答 市営住宅では本年8月から、訪問介護などに利用される車両については、入居者が契約してない駐車区画への短時間駐車を可能にしている。

問 歩行困難者の選挙権が保障されていない認識はあるか。郵便等投票の「要介護5」要件緩和が必要ではないか。

答 投票をあきらめざるをえない有権者が一定数いると認識している。郵便投票の要件を「要介護3」以上に拡大するよう国に要請している。



折戸小夜子 (多摩の風)

1. 戦後80年、100年までの継承には
2. 異常気象での温暖化・線状降水帯の対策は

問 戦後80年、悲惨な記憶の継承として、明治大学平和教育登戸研究所資料館を市民に周知し、市職員に見学の企画や小中学生に平和教育として活用してはどうかか。

答 多摩市平和展で資料館館長の講座の開催、昨年11月に登戸研究所解説ツアーを企画実施し、定員を超える申し込みがあった。市職員向けは検討する。又小中学校や教育研究会の社会科部の教員に紹介し活用を進めていく。

問 線状降水帯がニュータウン地区に発生したら、道路が冠水した沿道は床上浸水が想定される。防災減災で止水板の普及が急務ではないか。

答 高低差がある地形の特性から道路に沿って、一定の場所に集中し被害が発生した経緯がある。23区でも止水板を導入した所もあり研究する。

問 学校給食の配膳室での熱中症対策はアイスベストが貸与されているが、万全な対策ではなく、改善が急務ではないか。

答 学校給食の配膳室で働く方々は一層過酷な環境と認識している。配膳室の環境改善に向けた対策を検討する。



おにつかこずえ (あすたま・女性の力)

1. いじめ問題から学校生活の安全を考える
2. 性犯罪から子どもを守る取り組み

問 都内の小学校で起きた事件に関連して、市内小中学校の安全対策など改善された点について伺う。

答 具体的には「平時からの備え」と「緊急時の安全確保」の2つの視点から来校者に対する出入口の限定、不審者侵入時の学校体制の構築等を示し、安全対策の改善が図られている。

問 学校内の携帯電話の管理は児童生徒、教員、関係者はどのようにされているか伺う。

答 原則として、児童生徒が学校内に携帯電話を持ち込むことはない。教員については個人の携帯電話で児童生徒を撮影しないこと、公務で使用するタブレット端末やデジタルカメラ等で撮影する場合には、校長の許可なく学校外に持ち出しをしないように指導徹底している。

問 校内での児童生徒の着替えの場所はあるどのような場所か伺う。

答 全ての学校で男女別の更衣室の場が確保されている。





岩崎みなこ (ネット・社民の会)

民主主義を守り、次世代に手渡すための選挙制度とは

- 問** 本当は投票したいのに身体的な事情で投票できない市民が、多摩市内にいるとの認識はあるか。
- 答** 一定数いるものと認識している。
- 問** 階段や坂の多いニュータウンを持つ多摩市の地域性を考え、投票に行かない理由の実態調査をしてはどうか。
- 答** 調査したとしても、具体的に生かすににくい。
- 問** まずは、実態を知ろうという姿勢が重要ではないか。選挙管理委員会ではなく市長部局はどう考えるか。
- 答** 市民からの声があることは受けとめている。郵便等投票の対象者の拡大など国に粘り強く訴えている選挙管理委員会を支援していきたい。
- 問** 郵便等投票対象で要介護5の人のうち実際に投票した人は1%程度だ。選挙管理委員会だけでは対応が難しいのではないか。福祉の所管の協力も必要ではないか。
- 答** 要介護3以上の方が選挙に行きにくいことは課題と捉えており、ケアプランに書き込むことや、訪問介護サービスなど、できる対応をしている。



石山ひろあき (自民党)

シティセールス・多摩市の交流人口と関係人口について

- 問** 他の自治体と人口を奪い合うのではなく、市外の方が多摩市に興味を持ってもらえるような取組みで交流人口を増やし、関係人口につなげていくことが重要である。ファクト作りによる来街促進の取組みTAMATAMA FESTIVALの来場者数と広告換算値を伺う。
- 答** 2日間で4万人の来場があり、市外からの来場は76.6%で交流人口の増加やシティセールスのターゲットである世代へのPRにつながった。広告換算値は約1億917万円の効果があつた。
- 問** アイスランドの食材を使い、多摩センターと聖蹟桜ヶ丘の交流事業としてアイスランド風まちバルを開催したが、当初のチケット販売目標数と実際の購入数を伺う。
- 答** 5000枚用意したが購入数は291枚であった。
- 問** 本市がアイスランドと文化交流していることを市民はどのくらい認知していると考えているのか伺う。
- 答** 客観的なデータはないが、市民の半数以上が認知していると期待している。



藤條たかゆき (日本維新の会)

1. 多摩市の関係人口創出と継続的関与の仕組みづくりについて
2. 予防接種の機会確保と周知の強化

- 問** 多摩市は市民活動も活発であることから、潜在的な関係人口は豊富に存在していると捉えているが、そうした方々をいかに「見える化」し、関係性を継続させていくかが、今後の地域づくりの重要な鍵である。こうしたアクティブで多様なまちのグループの存在や、地域イベントを支える人・関わりたい人をつなぐ窓口“最初の一步を踏み出せる仕掛け”“づくりが重要であると思うがいかがか。
- 答** 約4割の関心層に向けたアプローチを考えている。
- 問** 「20歳の祝賀祭」だけでなく「30歳の集い」など、人生の節目で再び地元に来られるような場をつくるのが、若者と多摩市を再接続する絶好の機会であると捉えており、このような取組みを関係人口政策の一環として位置付けることで、多摩市で育った出身者に積極的にアプローチしてはどうか。
- 答** 本市の特性上、20歳以後に転出をする若い世代も多い。緩やかな関わりを促していきたい。



渡辺しんじ (公明党)

地球沸騰！多摩市の暑さ対策について

- 問** 実質8万円の値引きでエアコンが購入できる東京都の助成事業が始まった。市民への周知を徹底してもらいたいがいかがか。
- 答** 各チャンネルを通して、周知に努める。
- 問** 子どもたちの登下校時の熱中症対策として、冷感タオルの配布を要望するが、いかがか。
- 答** 効果を子どもたちに伝え、配布に関しては検討する。
- 問** パルテノン多摩に隣接する「こどもテラス」において「ちゃぶちゃぶ池」を再開してもらいたいがいかがか。
- 答** 利用者の声などを聞いて、検討する。
- 問** 小学校体育館のエアコン設置に向けた取組みが進んでいることは評価したい。しかし、すでに設置した中学校体育館の冷却効果が著しく悪い。対策を伺う。
- 答** 断熱、遮熱改修に向け、調査研究をしていく。
- 問** 「災害級の暑さ」から命を守ることは他の自然災害と同じような取組みが必要。市の認識と見解を伺う。
- 答** 命を守ることを最優先に対応していきたい。





いいじま文彦 (自民党)

未来安心戦略～高齢社会を
見据えて具体的なビジョンを

問 公共交通は、高齢者や通勤通学等の足として生活に不可欠なインフラであり、採算性だけでは判断できない。市として、事業者とどのように維持策を考えているか。

答 事業者とは協議を進めている。ミニバスについては、一定の減便やルート変更等の工夫を行いながらも現状のネットワークを維持できるよう、協議にあたっている。

問 総合計画をはじめ現在ある市の計画等では、市民の目からすると抽象的で、今すぐの安心にどうつながるか、具体像が見えていないのが現状だ。今回取り上げた、移動、孤立防止をはじめ多岐に渡る高齢社会に関わる課題をどのように解消していくのか、市はもう少し具体的なビジョンを市民に分かりやすく示すべきではないか。

答 超高齢社会に立ち向かって、生活のあらゆる側面で取り組みが必要であり、市として進めていくことが大事だと認識している。市民の方々に、市の具体的な取り組みを知っていただき、将来に向かって安心だと実感していただける発信を検討していきたい。



いぢち恭子 (ネット・社民の会)

- 1.健康保険証廃止後の受診について
- 2.「地域介護予防教室」の取り組みについて

問 昨年12月に健康保険証が廃止されたが、その後何度か暫定的な運用上の改変があった。どうなっているのか。

答 後期高齢者には、マイナ保険証の有無にかかわらず資格確認書を送付した。さらに来年3月までは、期限切れの保険証でも保険診療可能。また同時期まで「資格情報のお知らせ」のみでも保険診療可能である。

問 介護予防教室と介護予防リーダーの数について、過不足はあるか。

答 地域的に若干の偏りがあり、また利用者が多く今後の増加も見込まれるため、計画に基づき教室及び介護予防リーダーを増やす予定。

問 会場の予約に苦労する地域もあると聞いている。介護予防リーダーでなく市が会場を確保するべきではないか。

答 会場の問題に限らず、市は常にリーダー側と連絡を取り、必要に応じて協力している。

問 介護予防リーダーへの報酬はあるか。

答 高齢者対象のボランティアポイントを付与している。



大くま真一 (日本共産党)

- 1.「差別を許さないまち 多摩市」宣言を！
- 2.子どもも保護者も安心の不登校支援

問 関東大震災ではデマによって朝鮮人等の虐殺が起こった。いま、「外国人が優遇されている」というデマによって排外主義が広がっている。市の認識を伺う。

答 生活保護や医療保険、犯罪捜査などにおいて「外国人が優遇されている」という事実はない。日本人も外国人も地域社会を共に担う構成員と認識している。

問 多文化共生を進めるためにも多摩市として「差別を許さない」と表明することが必要ではないか。国や都にも対応を求めることが必要ではないか。

答 市として「差別を許さない」と明確に表明することは不可欠。国や都にも機会を捉え、対応を求めていく。

問 不登校についてのハンドブックを作るべきではないか。

答 不登校総合対策の改定にあわせて検討する。

問 不登校支援を進めるには、余裕のある学習計画や少人数学級で「行きたい学校」にすることが必要ではないか。

答 通常の学級では計画以上の少人数学級等は考えていない。不登校支援においては効果的だと考えている。



中島律子 (あすたま・女性の力)

- 1.障がいのある方の投票支援について
- 2.多様な子どもたちが共に学ぶために
- 3.おむつ用ごみ袋のサイズを見直そう

問 障がいのある方や高齢者にとって、記載台に文字だけの候補者名一覧があるだけでは理解しにくい。候補者名の上の部分に候補者の顔写真も掲示できないか伺う。

答 投票用紙を記載する台への掲示内容は公職選挙法で定められている。顔写真の確認が必要な場合は投票所に入場する前に選挙公報等で確認をお願いしている。

問 視覚障がいのある方への支援として「投票用紙記入補助具」を導入することや、代理投票の際の意思表示方法については、その具体例をQ & A形式で多摩市ホームページや福祉のしおりへ掲載していただきたいがいかがか。

答 障がいのある方が不安なく投票に行くことができるよう検討を重ねていく。

問 ギフテッドと呼ばれる子どもたちへの支援について伺う。

答 個々の能力や興味に合わせた支援を行っている。

問 市民から20ℓサイズのおむつ用ごみ袋を作ってほしいという要望が多くあるが検討いただけないか。

答 他市の状況や取り組みも参考にしながら検討していく。





岸田めぐみ (ネット・社民の会)

循環型のまちをめざして

- 問** ごみ対策課から資源循環推進課に課の名前を変更した。取組みの変化について伺う。
- 答** 変更以前から4Rを推進し、ごみの減量の啓発や市民と協働の取組を進めてきた。さらに強く進めていく。
- 問** 本市がめざす循環型のまちとは、どういうまちか伺う。
- 答** 考え方として資源を大切にすると共にごみの発生を抑制し、化学燃料への依存を減らし、発生したごみは資源として再利用・再生する社会システムを構築することで、気候危機対策と持続可能な社会の構築をめざす。
- 問** 環境の拠点であるグリーンライブセンターに、資源循環とごみ減量の推進に関する市民啓発の委託を出している。運営事業者には、コーディネート力を生かして取り組んでほしいが、いかがか。
- 答** 市民活動が分野を超えて連携することで相乗効果を生むと考えており、必要であると認識している。いきなり全ての市民活動のコーディネートは難しいが、一つ一つ市民活動の和を広げていきたいと考えている。



あらたに隆見 (公明党)

1. 学びの多様化学校拡充に向けて
2. 働き方改革で行政コストの大幅削減を!

- 問** 不登校に寄り添う学びの多様化学校分教室を拡充する要望も多いが、2施設目設置に向けての状況を伺う。
- 答** 令和9年4月諏訪複合教育施設に開設を検討している。
- 問** 新施設への通学は自転車通学も認めてはどうか。
- 答** 安全確保を優先にニーズも踏まえながら検討する。
- 問** 再びパンデミックが起こった場合の業務体制やその訓練はどのようにしているのか伺う。
- 答** 現在、訓練も含めて業務継続ができる計画を来年5月までに完成できるように取り組んでいる。
- 問** 選ばれる職場、行政コスト削減のために計画や契約書作りなどはテレワークを充実して行うべきではないか。
- 答** 必要と思っているがツールの関係もあり検討していく。
- 問** 220億円を超える現在の新庁舎建設規模より、数十億円の削減効果が見込めるテレワーク等、庁内の働き方改革を早急に進めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。
- 答** テレワーク等、業務改善のためのDX推進が共通でできるように国や東京都に要望している。

テレワークの充実で
新庁舎規模
の縮小を!



池田けい子 (公明党)

予防医療の推進で健幸生活!
健康寿命を伸ばして医療費削減!

- 問** 担い手の高齢化など、介護・フレイル予防の取組を住民主体で行っていくには限界がある。民間企業等の協力、学生の力の活用を考えるべきではないか。
- 答** 重要な点だと考えている。様々な関係機関と連携をして、健康寿命延伸をめざしていく。
- 問** 近年新型タバコの使用、睡眠障害の増加、若い女性のやせすぎ(低体重)の健康被害が危惧される。生活習慣改善として、対策を急ぐべきと考えるがいかがか。
- 答** 健康リスク等課題があると認識をしている。必要な対策を考え、学校でも引き続き周知啓発に努める。
- 問** 健康診断やがん検診の啓発とともに、がん検診等の最新情報にも注視し、予防医療に取り組むべきではないか。
- 答** 受診率向上をめざし、医療機関等の協力を得ながら検診の質の維持・整備に努める。
- 問** かかりつけ歯科医の有無、定期的な歯科検診の受診状況を成果指標として追っていくことを要望したいが、いかがか。
- 答** 世論調査の中で把握していきたい。



橋本由美子 (日本共産党)

1. GIGAスクール構想推進の前に現場の声を反映した分析を
2. リチウムイオン電池について

- 問** 一人一台のタブレット利用に関して思考力や健康への影響をどう捉え対策を講じているのか。デジタル教科書の導入に関しての考えも伺う。
- 答** 表面的な理解にとどまることや視力など健康面については配慮した教育に努めている。教科書は紙、デジタルを併用し教育効果を高めていきたい。
- 問** タブレット買換え時、児童生徒、教師の個人情報をもどのように守っていくのか伺う。
- 答** 日常も個人情報の保護に重きを置いているが、買換え時の消去は特に配慮していきたい。
- 問** リチウムイオン電池などが原因と考えられる清掃工場での事故について発生状況を伺う。
- 答** 工場内での発火事故は増加傾向である。
- 問** 燃えないごみ袋に入れるなど危険が生じないように、袋に印刷するなど対策が必要ではないか。
- 答** 啓発事業とともに、燃えないごみ袋に注意喚起の印刷をすることも検討していきたい。





上杉ただし (日本共産党)

- 1.障がい者福祉と包摂社会の実現に向けて
- 2.UR団地建設と団地再生について

問 障がい者支援施設の利用者の入浴支援回数が週2回とされている理由について伺う。

答 清潔保持のための支援については、浴槽を使用しての入浴だけでなく、シャワー浴やタオル等での体の拭き取りのサービスを提供している。

問 強度行動障害支援者養成研修は年3回行われているが、募集受付は年1回であるため、研修回数に合わせて3回実施するよう東京都に要望してほしいがいかか。

答 幅広い人材が適切な研修を受講できる機会を確保していくことは重要。強度行動障害支援者養成研修の受付回数を増やす取組みについても、対応を図っていききたい。

問 旧東永山小学校跡地に建設されるUR賃貸住宅について、現行の家賃と同額で住み続けられるよう措置を講じることをURに対して強く求めてほしいがいかか。

答 URとしては、移転が必要となる方へ家賃上昇を一定程度抑えるための減額制度を設けている。本市としても、住民ニーズ等について、URへ伝えていきたい。



しらた満 (青空りっけん)

- 1.交付金制度のあり方と自治体の自立性について
- 2.教育の生成AI活用について

問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は令和6・7年度合計約2億1千3百万円で物価高騰の影響を受けた生活者や事業者へ支援すべき。他市は農業、中小企業資金繰り、子ども食堂、ごみ袋等に公付。多摩市はなぜ幅広く交付しないか問う。

答 支援策を事業者や関係部長等と検討して決めた。

問 コンサルタント費用(50万円以上)は令和5・6年度合計4億70万円も支払われ、その選定理由、成果や費用対効果等を市民に見える化すべき。その是非を問う。

答 費用対効果の見える化は難しい。成果に達すれば検査合格とし支払う仕組み。国の仕事も多すぎる。

問 小学校体育館空調整備に続き、中学校体育館の遮熱・断熱等の改修工事が不可欠。どのようにするのか問う。

答 国の動向を見ながら着実に進める。

問 市の生成AIの試行ガイドラインは整備されようとしているが、教育委員会のガイドラインの作成について問う。

答 市試行を受け、多摩市教育委員会が生成AI活用の管理利用基準を定め、教育用ガイドラインを作成し検証を行う。



本間としえ (公明党)

戦後80年・被爆80年、戦争の悲惨な記憶を次世代に語り継ごう

問 多摩市独自の平和意識調査を求めるがいかか。

答 来年の平和展アンケートに設問を加える等検討する。

問 平和教育の教材に、広島のパールリアルティ(VR)映像を借り入れる等デジタル技術を活用してはいかか。

答 VR映像を新たな教材として各学校に紹介していく。

問 平和展のガイド役等、広く若い世代にボランティアを募り、平和の語り部育成を求めるがいかか。

答 学習のフォロー体制や人的リソースを考慮し検討する。

問 教員研修と児童生徒の校外学習先として、東京大空襲・戦災資料センターの見学をしてはいかか。

答 市内小中学校や教育研究会へ同センターを紹介する。

問 「微力だけれど無力じゃない」を合言葉に平和紙芝居研究会KPKA(クプカ)は、良質な紙芝居を通して平和の語り部になろうと呼び掛けているが、市の認識を問う。

答 KPKAの活動趣旨・目的は多摩市の平和啓発事業と目的を共有するもので、今後も共に平和をつくり、守るパートナーとして連携・協力を図っていく。



【秋の並木道】

撮影者：五十嵐 夕介さん(市内在住)

撮影場所：豊ヶ丘小入口交差点近くの歩道橋から



基本設計に向けてスタート！ ～多摩市役所新庁舎建設等特別委員会中間報告～

先進市へ視察・行政との情報共有！

7月、国分寺市役所(2025年1月新庁舎開庁)の視察を行い、議場や委員会室の配置、冷暖房の設備など丁寧に説明をいただきました。セキュリティ



▲国分寺市役所での視察の様子

対策や動線などを調査。議会フロアにおける課題等の整理をするため、大変参考になりました。

8月12日に開催した勉強会では、建替えに関連する補正予算の説明を受けました(希望する委員外議員も出席)。9月8日の本会議にて補正予算が可決され、設計及び周辺の面的整備がスタートすることになりました。

9月17日開催の特別委員会では、基本設計に関する想定スケジュールについて、基本設計業務にあたっての調整・共

有先について、また議会エリアの協議の基本的な考え方等について市側から説明を受け、確認をしました。

議会案整理のため、閉会中も勉強会！

特に議会エリアについては、これまで特別委員会でまとめた「基本計画(議会エリア)議会案」「基本設計における議会エリアと条件」について、まだ意見が一致していない部分や、曖昧になっている部分、また視察等や勉強会を経て見直すべきことなどがあることから、引き続き特別委員会で協議・整理していくこととします。議会閉会中の期間に数回の勉強会を開催して、整理した内容は今年度中に市側へ送付することをめざしていきます。



▲国分寺市役所での集合写真

議長活動報告

令和7年8月～9月の間の議長の公務の一部をお知らせします



多摩市議会議長
三階 道雄

東京河川改修促進連盟 第63回総会及び促進大会(8月7日)

「東京河川改修促進連盟」は、東京都内の河川の氾濫、^{いっすい}洪水による災害を防ぎ、住民福祉の増進をめざして、21市、14特別区、2町、1村で構成されています。

同連盟は、水害から住民の生命・財産を守るために、国会及び政府並びに東京都に対して、東京全域の河川改修の早期実施など、治水対策の促進を強く要望しています。

近年、局地的な集中豪雨などによる水害や土砂災害が頻発し、災害の激甚化が危惧されていますが、出席しました8月7日の促進大会においても、そうした背景も踏まえて、^{げきじんか}上述の要望を趣旨とする大会宣言や大会決議が採択されました。



あきる野市 市制施行30周年記念式典(8月31日)

平成7年9月1日に秋川市と五日市町が合併してあきる野市が誕生し、令和7年9月に市制施行30周年を迎え、その記念式典に招待されましたので、阿部市長と共に参列してまいりました。

式典当日は、都内の各市長・議長も多数参列し、国際友好都市であるマールボロウ市長のビデオメッセージが紹介されたほか、市にゆかりのある元バレーボール日本代表選手の木村沙織さんを「あきる野ふるさと大使」に任命する任命式等も執り行われました。

あきる野市さん、あらためまして市制施行30周年おめでとうございます。

審議結果 ー令和7年第3回定例会ー

市長提出議案 20件 議員提出議案 5件

全員一致で決定した議案

市長提出議案

【認定】

- ・令和6年度多摩市一般会計歳入歳出決算
- ・令和6年度多摩市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ・令和6年度多摩市介護保険特別会計歳入歳出決算
- ・令和6年度多摩市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ・令和6年度多摩市下水道事業会計決算

【原案可決】

- ・令和7年度多摩市一般会計補正予算（第4号）
- ・令和7年度多摩市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和7年度多摩市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和7年度多摩市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・令和7年度多摩市下水道事業会計補正予算（第1号）
- ・多摩市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・多摩市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正
- ・多摩市会計年度任用職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正

- ・多摩市下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
- ・令和7年度多摩市一般会計補正予算（第5号）

【同意】

- ・人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めること（同名議案4件）

議員提出議案

【原案可決】

- ・通学路の安全対策に係る支援を求める意見書
- ・学校施設の老朽化等に伴う施設整備に係る財政支援について国庫補助である『学校施設環境改善交付金』の更なる充実を図るよう文部科学省への働きかけを求める意見書
- ・学校給食費無償化実施のための東京都公立学校給食費負担軽減事業、市町村総合交付金（政策連携枠）の継続実施を東京都に求めるとともに国への働きかけを求める意見書
- ・中学校等における地域連携・地域移行に関する支援事業の補助率について拡充を求める意見書
- ・定期的予防接種の実施に係る経費について、国の責任において財源を確保するよう求める意見書

意見の分かれた議案

議案名	公	共	自	ネ・社	あ女性	青	み	風	維新	結果
多摩市立総合体育館条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

公＝公明党（5人）、共＝日本共産党（4人）、自＝自民党（4人）、ネ・社＝ネット・社民の会（3人）、あ女性＝あすた・女性の力（2人）

青＝青空りっけん（1人）、み＝多摩みらいの会（1人）、風＝多摩の風（1人）、維新＝日本維新の会（1人）

※公明党の会派人数は5人ですが、採決は三階道雄議長を除いた4人で行います。 ○：可決 ×：否決

閉会中の審査とした陳情

- ・自宅内の放射線と電界磁界の異常についての陳情

継続とした所管事務調査案件

- ・少子高齢化時代におけるまちづくり・コミュニティの維持と発展について
- ・重層的支援体制の整備について
- ・緑の管理について
- ・誰ひとり取り残されない学びの保障としての不登校支援について



市民と議会

つながる

多摩市写真連盟

たま市議会だより
編集会議

8月29日(金)午後、写真愛好家のサークル「多摩市写真連盟」(多摩市文化団体連合所属)のみなさんと、たま市議会だより編集会議のメンバーとで懇談し、活動の内容や面白さ、ご苦労されていることなどについてお聞きしました。

議会だより編集会議(以下、編集会議)：まず、写真連盟発足の経緯、メンバーなどについてお聞かせください。

多摩市写真連盟(以下、写真連盟)：2年前に発足したばかりです。今までいろいろな所で写真クラブがあることはわかっていましたが、なかなかお互いが知り合う機会がありませんでした。団体が集まって一緒に写真展を開催したら面白くなるのではないかと、という思いがあって写真連盟を立ち上げ、活動しています。



アマチュアからプロまで 写真好きが集まっています！

写真連盟：現在は団体が3グループ、個人で活動している方も含めると会員数としては50名くらいです。アマチュアからプロまでさまざまな人がいます。写真好きな人が集まって楽しく活動しています。会員募集中です。

編集会議：どんな活動をされているのですか？

写真連盟：市内にあるパルテノン多摩などの会場を借りて市民写真展を行っています。写真を見てもらっただけでなく、市民参加型の写真展にしたいと思い、写真展を見に来てくださったお客様に「気に入った作品にシールを貼っていただく」という取組みも行っています。



多摩市写真連盟の みなさんに聞きました



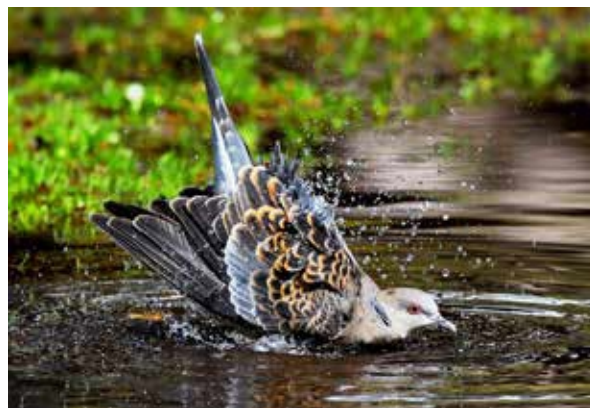
工夫した写真展示会、 撮る楽しさを分かち合う

写真連盟：去年は市長にもお越しいただきシールを貼っていただきましたが、今後も市民のみなさまに楽しんでいただけたような展示会にしていきたいと思います。

編集会議：写真展の開催で苦労されていることはありますか。

写真連盟：展示スペースや発表の場が限られているので会場を探すのがたいへんです。会場費もけっこうかかります。写真展といっても堅苦しいものではなく、スマホで撮った写真を家庭用プリンターで印刷したものでも十分ですし、額も好きなものを使えます。初心者でも気軽に参加できるよう工夫しています。

写真の展示会だけでなく、その前段階である撮る楽しさも分かち合いながら写真を通して人と人とがつながるなど、地域の活性化にもつなげていきたいと思っています。



多摩市写真連盟の方の作品 作品名「キジバトの水浴び」

編集会議：『議会だより』の表紙写真を公募していますが、応募が増えるように何かアドバイスはありますか。

写真連盟：たとえば、スマホで撮った写真でもいいと一言記載したり、高齢者の方が応募しやすい方法を工夫すると応募のハードルが下がるのではないのでしょうか。

編集会議：きょうは貴重なお話をありがとうございました。これからもご活躍ください。

写真連盟：ありがとうございました。